

JA安芸 自己改革の 実現に向けた取り組み

JA安芸では地域に必要とされるJAをめざし、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、その達成に向けて自己改革に取り組んでいます。その主な取り組み内容についてご報告いたします。

1. 農業者の所得増大



「農家のやる気応援プロジェクト」と題し、生産者の費用低減策に取り組んでいます。具体的には、「①レンタルハウス」「②レンタル農機」「③肥料・農薬のセット販売」による費用の低減です。

また、農家の生産技術の向上をめざした各種「農業講習会」の開催やJA安芸管内産の新鮮野菜の直売【本店・玄関前（毎週火曜日）およびフジ海田店（毎週木曜日）】を行い、販路の拡大に努めています。



「農家のやる気応援プロジェクト」の第1弾として、「レンタルハウス」を提供しています。JAの施設を一年毎のレンタル料の負担で農家の皆さまにお貸しするものです。自己資金が少なくても施設農業が始められ、付加価値の高い農産物を生産することで、所得の増大に貢献しています。

平成31年2月末現在で、50アール（設置数29棟）のレンタルハウスが稼働し、消費者の皆さまに新鮮な野菜をお届けしています。

（※ 予定件数に達したため、現在は新規取扱いを中止しています。ご了承ください。）

「農家のやる気応援プロジェクト」の第2弾として、「レンタル農機」を提供しています。導入費用の掛かる「耕運機」や「散布機」「自走式草刈り機」等をレンタル農機としてご用意し、生産者の方に安価な料金で貸出を行っています。

平成31年2月末現在で、9種類の農機具をご用意しておりますので、ぜひご利用ください。

<p>直売所の開設</p> 		<p>J A 安芸では、生産者の販路の拡大支援策として、本店・玄関前（毎週火曜日）とフジ海田店（毎週木曜日）の2か所で直売所を開設しています。消費者に新鮮な野菜をお届けするとともに、生産者が消費者と交流することが、生産者の生産意欲の向上に繋がっています。</p>
<p>生産者部会の設立・支援</p> 		<p>J A 安芸では、生産者同士の連携や販路の確保および営農指導を強化するため、各種農作物の生産部会の設立・支援を行っています。</p> <p>平成31年2月末現在、11の部会による活発な情報交換や研究が販路の拡大や農業所得の増大に繋がっています。</p>
<p>農業担い手への金融支援</p> 		<p>営農指導員と購買担当者および支店の融資担当者（金融部門）が連携し、3年間利子補給される J A 営農支援資金「営農たすかるくん」を中心に、出向く営農指導を実践し、ご提案しています。</p> <p>平成30年度は、27件・87,755千円の営農資金の提供を行いました。営農資金のことなら、J A 安芸にご相談ください。</p>

2. 農業生産の拡大

管内の農産物の生産拡大をめざし、J A 安芸は「きずな農園」を設立して直接農業経営に取り組んでいます。同農園では、「白ねぎ」「小松菜」「キャベツ」等を栽培し、J A の直売所や市場へ出荷しています。

また、新たな担い手（生産者）を育成するために行政と連携して「新規就農者支援事業」を積極的に支援しているほか、各種の講習会を開催し、農業生産の拡大に取り組んでいます。

<p>きずな農園の開設</p> 		<p>地域の農業生産の拡大を図るため、J A 自らが農業経営事業に取り組んでいます。平成29年4月に広島市安芸区上瀬野地区に「きずな農園」を開園しました。</p> <p>同農園の耕作面積は1.1ヘクタールで、「白ねぎ」「小松菜」「キャベツ」「アスパラ」等を栽培し、J A の直売所や市場等へ出荷しています。</p>
<p>営農指導の充実・強化</p> 		<p>マーケットインへの生産・販売方式への転換に向け、各地域に「営農指導員」を配置し、農家・生産者へ栽培・販売方法等の指導を行っています。また、営農指導員の育成にも注力し、平成31年2月末現在で、13名の職員が営農指導員資格を取得しています。これからも、営農指導の充実・強化を図ってまいります。</p> <p>また、農業と接する機会が少ない信用・共済業務を担当する職員の営農に関する知識の習得を目的として、平成29年度より「日本農業検定」の資格取得を推奨しています。平成31年2月末現在で、3級2名、2級11名、1級1名が取得しています。</p>

加工品の開発・販売



J A 安芸管内の農産物で作られた加工品の開発にも力を注いでいます。平成28年度には管内産の「ヒノヒカリ」を原料に日本酒「永遠の結」を、平成29年度には坂町産の「むらさき麦」を使用した「YOYOビール」を開発・販売し、農家所得の増大・農業生産の拡大に繋げ、消費者にも非常に好評を得ています。なお、日本酒「永遠の結」は、平成30年度より原料に管内産の酒造好適米「千本錦」を使用し、吟醸酒の香りが高くすっきりとしたお酒になりました。また、時間の経過とともにまろやかに味わい深くなります。

新規就農者への支援



J A 安芸では、農業経営に意欲のある人材を確保し、活力ある農業経営者の育成を支援するため、行政と連携して新規就農者の支援を行っています。

この事業は、広島市の「ひろしま活力農業」経営者育成事業とJ A 安芸の「新規就農支援事業」が連携して実施するもので、農地の確保から栽培方法の指導、販売経路まで総合的にサポートを行う仕組みです。現在、J A 安芸管内では若い農業者が広島市安芸区阿戸町で小松菜等を栽培し、出荷されています。

農業講習会の開催



J A 安芸では、農家・生産者向けの専門的なものだけでなく、農業初心者向けの講習会も開催しています。

専門的な講習会では、「こだわりヒノヒカリ」の講習会を開催し、更なる品質の向上や生産量の拡大をめざしています。出荷希望者向けには、「安芸農業塾」と題した講習会を開催し、野菜や花の栽培管理から出荷までの一連の流れを実地で学べる講習会を行っています。また、行政と連携した農業初心者向けの講習会（野菜づくり講習会）等も開催しています。

3. 地 域 の 活 性 化



「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」をキャッチフレーズに、地域農業の発展と地域住民のより良い暮らしを実現するため、「教育文化活動」や支店を拠点とした「支店協同活動」を行っています。

教育文化活動としては、地域住民に農業を体験していただく「ちゃぐりんフェスタ」の開催や、小学校での稲作体験等を行っています。

支店協同活動としては、「支店広報誌」を作成して組合員・地域とのきずなを深める「えがお きずな わくわく訪問活動」で配布したり、助けあい組織（いきいき百歳倶楽部）の設立や地域の行事（お祭り）等にも参加するなど、積極的に地域活動に貢献しています。

農業体験・教育活動



地域住民に農業を体験していただき、「食」と「農」の大切さを学ぶ「ちゃぐりんフェスタ」や「親子稲刈り・野菜収穫体験」を開催しました。地域の農家やJ A 安芸青壮年連盟の協力を得て、「えだまめ」と「とうもろこし」の収穫や稲刈りを行い、「食」と「農」を通じてJ A への理解を深める活動を行っています。

<p>えだまめオーナー制度</p> 	<p>J A安芸では、「黒えだまめ」のオーナー制度を設けています。この制度は、農家の方が畑で育てた「黒えだまめ」を区画ごと提供するもので、オーナーになられた方に収穫をしていただきます。新鮮な「黒えだまめ」はすぐに茹でて食べてもいいですし、お正月に黒豆としても食することもでき、大変好評を得ています。平成30年度は、312区画でオーナーの募集を行いました（毎年更新）。</p>
<p>フードフェスティバル(PR活動)</p> 	<p>秋の恒例のイベント、広島市（広島中央公園）で開催される「フードフェスティバル」に、毎年他のJ Aグループとともに参加しています。</p> <p>同フェスティバルでは、J A安芸管内産の「黒えだまめ」や「とうもろこし（アキコーン）」の販売を行い、管内産農産物のPRを行っています。</p>
<p>支店広報誌・訪問活動</p> 	<p>組合員・地域の方とJ Aを結びつける重要なツールとして平成29年度より「支店広報誌」を発行しています。紙面にはJ Aの情報やイベント情報、地域の情報等が満載ですのでぜひご覧ください。なお、支店広報誌は年4回（季刊）発行しています。</p> <p>また、「えがお きずな わくわく訪問活動」として職員が組合員宅を訪問する活動も同時に行っています。職員が訪問した際には、ご相談・ご要望等、お気軽にお申し付けください。</p>
<p>助けあい組織の設立</p> 	<p>J Aの支店を地域のよりどころとして活動する組織「いきいき百歳クラブ」を阿戸地域で設立しました。このクラブは「住み慣れた地域で誰もが安心して心豊かに暮らし、健康寿命を延ばすこと」を目的として活動し、介護予防のための体力を付ける体操などを行っています。</p> <p>今後ともJ Aではこのような助けあい組織を各地域に設立し、地域の活性化に繋がる活動を支援してまいります。</p>

この紙面でご紹介したものは、J A安芸の自己改革の取り組みの一部です。詳細な内容や最新の情報については、J A安芸のホームページ [<http://www.ja-aki.jp>] でご確認ください。また、Facebook（フェイスブック）でも身近な情報を公開していますので、併せてご覧ください。

J A安芸は、「食と農を基軸に地域に根ざした協同組合」として、「地域農業の振興と活力ある地域社会づくり」をテーマに、組合員や地域の皆さまから頼られ必要とされるJ Aとなることをめざし、今後も全力で自己改革に取り組んでまいります。



えがお きずな わくわく J A
安芸農業協同組合

〒736-0046
広島県安芸郡海田町窪町8-8
TEL : 082-822-0076 (代表)
FAX : 082-822-2275

農業・営農のことに関しては、

- ・ 営農指導販売課 (082-820-8112)
- ・ 海田購買センター (082-822-4836)
- ・ 瀬野川購買センター (082-894-1216)
- ・ 熊野購買センター (082-854-0059)
- ・ 坂購買センター (082-885-3166) に
お気軽にお問合せください。